



生活にちょっと役立つ

うんちく話



てつ どう 鉄 道 の 日



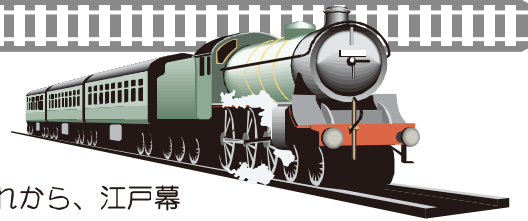
10月14日は「鉄道の日」です。

今から138年前の**1872年(明治5)10月14日**に、東京都「新橋」～神奈川県「横浜」間の鉄道が開通したことを記念して、1922年(大正11)から、10月14日は『**鉄道記念日**』になりました。そして、1995年(平成6)から『**鉄道の日**』に改称されています。

日本の鉄道の歴史は“幕末”にあり

日本の鉄道の歴史の始まりは“**幕末**”にあると言われています。

1853年にペリーが黒船に乗って日本にやって来た際、鉄道模型を将軍へ献上したことがきっかけとされています。当時、欧米ではすでに鉄道が普及していて、その利便性は日本人に憧れを抱かせていました。それから、江戸幕府や薩摩藩も鉄道を敷設する計画を立てていましたが、実際に具体化したのは明治維新の翌年の1869年でした。開業当時の運賃は「**上等席**」が1円12銭5厘、「**中等席**」が75銭、「**下等席**」が37銭5厘で、「下等席」の運賃でも米が10kg買えるほど高額なものでした。その後、大正、昭和にかけ、鉄道はどんどん全国に広がり、1964年(昭和39)には時速200キロの新幹線が東京～新大阪間で開通します。ですから、**20世紀の日本は鉄道と共に発展していった**と言っても過言ではないでしょう。



世界の鉄道事情

世界でも今、鉄道事情が盛り上がっています。例えば、アメリカではオバマ大統領が掲げた「グリーン・ニューディール」政策において、ロサンゼルス～サンフランシスコまでの1120kmに最高時速350キロの列車を走らせる計画が立てられています。また中国では、2020年までに総距離約1万6000kmに及ぶ高速鉄道網を整備する大計画があります。他にも、イギリスではロンドン五輪を前に、ブラジルでもW杯やオリンピックの開催に向けて高速鉄道の整備が国家レベルで行われているそうです。

なぜ今、各国で「**鉄道**」がクローズアップされているかというと、鉄道は飛行機や自動車よりもエネルギー効率が良く、二酸化炭素の排出量が少ないことが大きな理由のひとつです。例えば、鉄道と自動車で同じ距離を走らせた場合、鉄道は自動車の“**9分の1以下の二酸化炭素排出量**”です。そのため、環境にとっても優しい乗り物なのです。



「鉄道の日」は、電車・列車から見える様々な景色や街の面影を楽しんでみるのもよいのではないのでしょうか。

歯とカラダが喜ぶ カルシウムたっぷりの健康お料理教室



今回ご紹介のお料理

いわし天

材 料 [2人分]

- ・いわし…………… 4尾
- ・にんじん…………… 1/2本
- a 片栗粉・水…………… 各大さじ1
- 塩…………… ひとつまみ
- 揚げ油…………… 適量
- しその葉…………… 2枚

栄養価 [1人分]

- ・エネルギー…………… 311kcal
- ・カルシウム…………… 83mg
- ・ビタミンD…………… 10μg
- ・ビタミンK…………… 17μg
- ・塩分…………… 0.8g

- 作り方**
- ① いわしは頭と腹ワタを取り除いて軽く洗い、水気をふき取る。
 - ② にんじんはせん切りにする。
 - ③ フードプロセッサーに①とaを入れてなめらかになるまでまぜる。
 - ④ ボウルに②と③を入れ、それを6等分に成形して高温の油で揚げ、しその葉を敷いたお皿に盛りつけて完成です！